

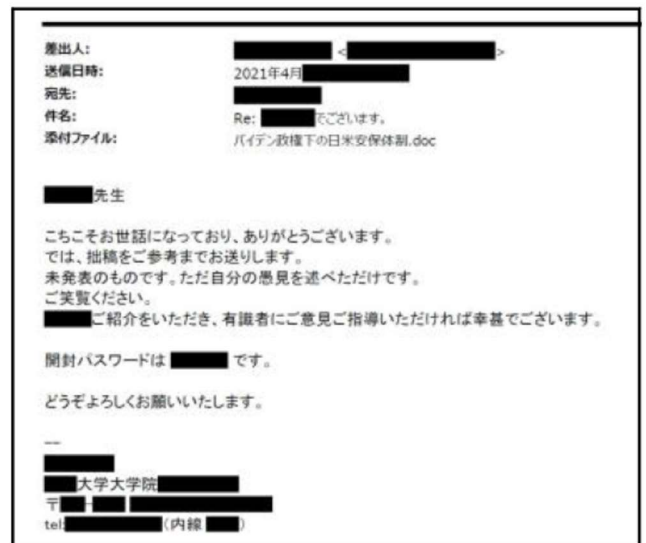


サイバーニュース

標的型メールの特徴について

1 これまでに確認されている特徴について

- テーマ
 - ・ 受信者の**業務に直接関係のある内容**
 - ・ 開封せざるを得ないような内容（問合せ、クレーム、やり取り型のメール等）
 - ・ 誤送信のようだが興味をそそられる内容
- 送信者
 - ・ **フリーのメールアドレス**を使用
 - ・ 送信者のメールアドレスが署名と異なる
- メール本文
 - ・ 不自然な日本語や、日本では使われない漢字（簡化字等）がある
 - ・ **表示された URL と実際のリンク先 URL が異なる**
 - ・ 実在する名前や、実際に使われている署名を使用している。
- 添付ファイル
 - ・ Microsoft **Word、Excel ファイル**、または同ファイルを**圧縮したもの**
 - ・ アイコンの偽装、二重拡張子、拡張子の前に大量の空白文字



2 対策について

OS、ウイルス対策ソフトなどを常に最新の状態に更新するといった一般的なセキュリティ対策に加え、

- ・ 不用意に添付ファイルを開いたり、リンクをクリックしない
- ・ 不審なメールの見分け方を共有し、送信訓練を実施する
- ・ 標的型メールを受信した場合は、システム管理者に報告させるなどの対策を検討してください。

被害に遭った場合は警察に通報してください！

石川県警察本部生活安全捜査課サイバー犯罪対策室



076-225-0110



cyber@police.pref.ishikawa.lg.jp